

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【公開番号】特開 2007-236808 (P2007-236808A)  
 【公開日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-036  
 【出願番号】特願 2006-66415 (P2006-66415)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 B

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 3 月 10 日 (2009.3.10)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

乱数を用いて役の当否を決定する抽選を行う抽選手段と、  
 通常状態及び通常状態よりも遊技者に有利なビックボーナス状態を含む複数種類の遊技状態の間で遊技状態を移行させる制御を行う遊技状態制御手段とを備えた遊技機であって、

前記抽選手段が、

通常状態において、ビックボーナス状態への移行契機となるビックボーナスの当否を決定する抽選を行うとともに、ビックボーナス状態において、入賞に伴い遊技媒体の払出しが行われる小役の入賞率を通常状態より上昇させて遊技を実行するレギュラーボーナス状態への移行契機となり、かつ、入賞に伴い次の遊技に際して遊技媒体の投入が不要となるリプレイの当選確率を通常状態と異なるように変動させて遊技を実行するリプレイタイム状態へ遊技状態を移行させる契機となるレギュラーボーナスの当否を決定する抽選を行い、

遊技状態制御手段が、

所定枚数を超える遊技媒体が払い出されるまでビックボーナス状態を継続させるとともに、ビックボーナス状態において、前記レギュラーボーナスによって変動したリプレイの当選確率をビックボーナス状態後も引き継がせることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記抽選手段が、

ビックボーナス状態において、複数種類のレギュラーボーナスの当否を決定する抽選を行い、

前記遊技状態移行制御手段が、

前記レギュラーボーナス状態の終了後に、レギュラーボーナスの種類に応じて、前記リプレイの当選確率の変動を終了する条件及びリプレイの当選確率の少なくとも一方が異なる状態に遊技状態を移行させることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、  
前記遊技状態移行制御手段が、  
ビッグボーナス状態におけるレギュラーボーナスの当選後に、前記レギュラーボーナス  
が入賞することに伴い、前記リプレイの当選確率を変動させることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】遊技機

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、遊技状況に起伏を与えて遊技が単調になることを防止することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(1) 本発明は、乱数を用いて役の当否を決定する抽選を行う抽選手段と、通常状態及び通常状態よりも遊技者に有利なビッグボーナス状態を含む複数種類の遊技状態の間で遊技状態を移行させる制御を行う遊技状態制御手段とを備えた遊技機であって、前記抽選手段が、通常状態において、ビッグボーナス状態への移行契機となるビッグボーナスの当否を決定する抽選を行うとともに、ビッグボーナス状態において、入賞に伴い遊技媒体の払出しが行われる小役の入賞率を通常状態より上昇させて遊技を実行するレギュラーボーナス状態への移行契機となり、かつ、入賞に伴い次回の遊技に際して遊技媒体の投入が不要となるリプレイの当選確率を通常状態と異なるように変動させて遊技を実行するリプレイタイム状態へ遊技状態を移行させる契機となるレギュラーボーナスの当否を決定する抽選を行い、遊技状態制御手段が、所定枚数を超える遊技媒体が払い出されるまでビッグボーナス状態を継続させるとともに、ビッグボーナス状態において、前記レギュラーボーナスによって変動したリプレイの当選確率をビッグボーナス状態後も引き継がせる遊技機に関するものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、ビックボーナス状態においてレギュラーボーナス状態への移行契機となるレギュラーボーナスの当否を決定する抽選を行っており、レギュラーボーナスによって変動するリプレイの当選確率をビックボーナス状態後も引き継がせるようにしたので、レギュラーボーナスがリプレイの当選確率の変動契機に関連づけられることにより、ビックボーナス状態を、リプレイの当選確率の変動契機を高確率で抽選する遊技区間として設定することができるようになる。その結果、リプレイの当選確率が上昇する場合には、遊技者の手持ちの遊技媒体が消費されにくくなり、遊技状況に起伏を与えて遊技者の関心を高めることができるようになる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(2) 本発明の遊技機では、前記抽選手段が、ビックボーナス状態において、複数種類のレギュラーボーナスの当否を決定する抽選を行い、前記遊技状態移行制御手段が、前記レギュラーボーナス状態の終了後に、レギュラーボーナスの種類に応じて、前記リプレイの当選確率の変動を終了する条件及びリプレイの当選確率の少なくとも一方が異なる状態に遊技状態を移行させるようにしてもよい。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

このようにすれば、遊技者はできるだけ自らにより有利なリプレイタイム状態への移行が可能となるレギュラーボーナスの当選を目指して遊技を行おうとするようになる。このため、遊技者にビックボーナス状態において当選したレギュラーボーナスの種類についても高い関心を持たせることができるようになる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(3) 本発明の遊技機では、前記遊技状態移行制御手段が、ビックボーナス状態におけるレギュラーボーナスの当選後に、前記レギュラーボーナスが入賞することに伴い、前記リプレイの当選確率を変動させるようにしてもよい。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

このようにすれば、レギュラーボーナスが入賞するまではリプレイの当選確率が変動しないため、遊技者にレギュラーボーナスの入賞についても高い関心を持たせることができるようになる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】